

美術学科

楠元 香代子 教授



専門分野 彫刻

最終学歴 東京学芸大学大学院修士課程

職歴 鹿児島大学非常勤講師

鹿児島女子短期大学非常勤講師

名古屋芸術大学美術学部客員教授

■研究紹介

[研究テーマ]

1. 彫像による人物彫刻表現の研究
2. スリランカ仏教美術の研究

芸術は自己の意思、心の表現です。表現ですから技術的な向上を目指すのは言うまでもありませんが同時に、私たちを取り巻く森羅万象や人間社会が織り成す様々な表情を感じ取り、それを表現したいという境地にいつも立つことではないかと思えます。つまり、自分自身を生涯をかけて研ぎ続けることに他ならないのです。ヒポクラテスの箴言のように、「芸術は永し」という言葉になるのでしょうか。過去の優れた彫刻家たちも、その彫刻家が生きた時代に真剣に向き合い、それを作品にしてきました。そういう先人たちの足跡を研究することの中にも表現者として学ぶべきものが多くあります。今スリランカの仏教美術を見つめながら、信仰の生み出す造形について研究しています。その中には様々なメッセージが込められています。それを読み解くことによって、過去の時代の見知らぬ人々の情愛や知恵、或いは作家たちと交信ができるような気持ちになります。

スリランカの仏教美術は、この国に仏教が伝わった紀元前3世紀からのものも多く残っており、仏像だけでなく、様々な造形物があります。例えば仏足石やムーンストーン、ガードストーンなどで、美や神聖なものに対する純粋な憧憬が感じられ、芸術発祥の原点に立ち返ることができる気がいたします。

[企業の皆様へ]

近年の都市空間や生活空間の中に彫刻芸術が浸透して参りました。これは世界的な流れで、それぞれの作品が主張しあっているように思えて大変楽しいものです。それらは社会空間の中で、潤いを感じさせてくれます。

本学の芸術学部の学生はいつか社会にお役に立てるようなものが作れることを願いながら日々制作に励んでおります。

[学生へのメッセージ]

人は人。自分は自分。今出来ることを楽しみながら確実にやろう。「犀のように黙々と歩め」仏陀の言葉。

■研究業績

[著書]

- 1) 「形」folme. vol 111 『高等学校における美術科指導計画とその実践』共著 日本文教出版社
- 2) 「造形美術体系」小学校低学年編 『彫塑的表現の活動とその実践』共著 美術出版社
- 3) 『スリランカ巨大仏の不思議・誰が・いつ・どのように』単著 法蔵館

[学術論文]

- 1) 『彫塑教育における鑄造への展開について』

[受賞略歴]

- 1) 日展特選 「夏の讃歌」 昭和57年
- 2) 日展特選 「浜風」 昭和58年
- 3) 鹿児島県芸術文化奨励賞 昭和61年
- 4) 白日展 吉田賞 「卒業生」 平成3年
- 5) 日展会員賞 「月の浜辺II」 平成12年
- 6) 白日展 長島美術館賞 「ファンタジア」 平成14年

[主なモニュメント]

- 1) 「女学生の像」 国分高等学校創立70周年記念事業によるブロンズ像制作 昭和59年
- 2) 「明治維新の母と子供達」 鹿児島市高見橋欄干彫刻 鹿児島県依頼 昭和59年
- 3) 「四季の詩」 甲突川緑地帯公園 鹿児島市依頼 昭和60年
- 4) 「青春の像」 鹿児島市立鹿児島女子高等学校同窓会 平成元年
- 5) 「林芙美子像」 桜島林芙美子文学碑 鹿児島市依頼 平成2年
- 6) 「夕焼け空」 武岡台公園のモニュメント 鹿児島市依頼 平成5年
- 7) 「丹下ウメ胸像」 日本初の女性農学博士 鹿児島ロータリークラブ 平成5年
- 8) 「太陽の家族」 国分市新市庁舎完成記念 平成8年
- 9) 「青春のわだち」 鹿児島県立大島高等学校新校舎完成記念 平成8年
- 10) 「青春の像」 鹿児島西高等学校通信制閉課程記念 平成12年

[審査員歴]

- 1) 日展審査員：平成2年、平成6年、平成13年
- 2) 日本彫刻展審査員：平成元年、平成8年、平成15年
- 3) 白日展審査員：昭和59年、平成元年、平成11年、平成12年、平成13年、平成15年

[学会および社会における活動等]

社団法人日展評議員
白日会会員
日本彫刻会運営委員
大学美術教育学会会員
鹿児島市文化審議会委員
かぎん文化財団評議員(鹿児島銀行)
鹿児島女流彫塑会会長
スリランカ・キャラニヤ大学客員教授
放送大学客員教授